

TMDU 海外留学 先輩の声

留学/派遣先（国名）：インペリアル・カレッジ・ロンドン（イギリス）



Q.今回の留学プログラムの感想	インペリアル素晴らしい環境で研究を経験でき、学業面のみならず、研究者としてのメリハリあるライフスタイルからも学ぶことが多くありました。母国を離れロンドンで勉学や研究、仕事に励む若者たちは皆熱意と才能に溢れており、交流を通して非常に刺激を受けました。旅行先ではイギリスやヨーロッパの歴史に触れ、世界各国の歴史や文化、美術について教養を深めたいという意欲が高まりました。元々どちらかというとインドア派だった私ですが、限られた時間を最大限活用したいという思いから毎日を活動的に過ごすことができました。異国の地で様々なトラブルにも見舞われましたが、ひとつひとつ対処する中で生活力も向上したように思います。多様性に富み自由な雰囲気をもつロンドンの魅力を知ると同時に、さまざまな面で日本の正確性や安心感を再認識する機会にもなりました。	留学中のお気に入りの写真  コメント：大観覧車ロンドン・アイから眺めたテムズ川の風景
Q.健康管理や危機管理について	渡航後10日で新型コロナに感染しました。また渡航後1カ月経たない頃にクレジットカードの不正利用被害に遭い、支払い上限額まで使われてしまいました。以降は即時通知機能があるデビットカードを中心に利用していました。	
Q.今回の派遣先への留学を希望している後輩たちへのメッセージ	プロセメ留学に興味があるけど不安が多くて迷っている方がいらっしゃるかもしれませんが。私も当初は不安しかなく、実際予期せぬことにも数多く出会いましたが、それらの経験は結果的に大きく自分を成長させ、充実した楽しい日々を過ごすことができました。ぜひ一歩踏み出してみてください。プロセメ留学すると心に決めている方は、留学を通して達成したい目標を決めて行くと、より実のりある経験ができると思います。	
Q.留学プログラムへの応募前や選考、渡航前などに大変や不安だったこと	新型コロナの影響で今年は異例の状況だったこともあり、滞在先の確保に苦労しました。英語力や自炊などの生活面に加え、研究の経験が浅いことにも不安がありました。	

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。
国際交流課 学生派遣係 一同

TMDU 海外留学 先輩の声

留学/派遣先（国名）：インペリアル・カレッジ・ロンドン（イギリス）



Q. 今回の留学 プログラムの感想

昨年までは新型コロナウイルスの影響で派遣が行われていなかったため、今年このような貴重な機会をいただけたことにとても感謝しています。初めの数週間は文化や発音の違いなどに戸惑いましたが、研究室では多国籍の方と出会うことができ、段々と会話や雰囲気になれていくことができました。研究では英語が使えずに申し訳ないこともありました。根底にある医学に対する真摯な姿勢も非常に重要だということを感じました。留学期間を通して海外と日本の違いを多く発見しましたが、どちらにも強みがあると思います。たとえば日本の衛生意識は世界一ですが、何事にも明るく取り組む海外の方の姿勢はこれからの生活にぜひ取り入れていきたいと思いました。海外で暮らすのも一人で生活するのも初めてだったので、とても良い経験ができたと思います。

Q. 健康管理や 危機管理について

物をすぐに取りられやすい外側のpocketには大切なものを入れないように気を付けました。カフェなどでも携帯を机においておくと取られることがあると聞いたので鞆にしまっていました。

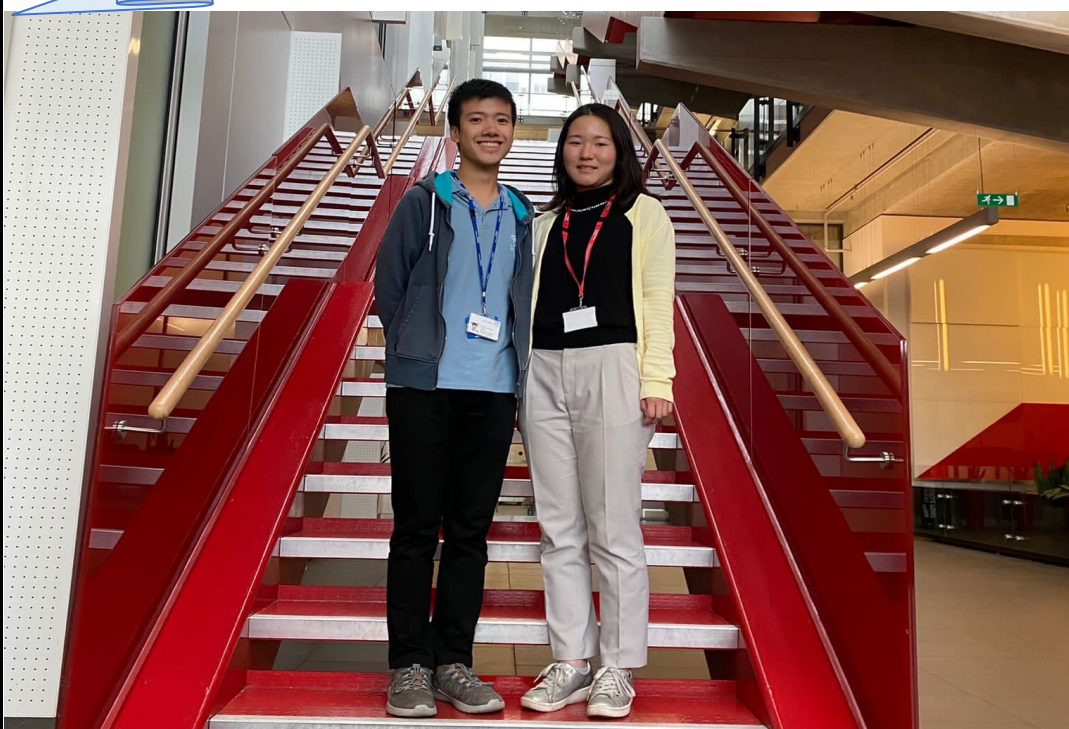
Q. 今回の派遣先への 留学を希望している 後輩たちへの メッセージ

大学の設備・教育等は申し分なく整っており、研究室の選択肢も10程度とほかの派遣機関に比べて多いので、より自分の興味のあるテーマで研究ができると思います。英語力があればさらに充実した時間を過ごせると思います。またLondonには多くの国から人が集まっているのも興味深いでしょう。Imperial に行くのに不安を感じる方もいると思いますが、私がそうであったように、挑戦してみる価値があると思います。

Q. 留学プログラムへの 応募前や選考、 渡航前などに大変や 不安だったこと

新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度の派遣学生は寮に滞在することができず、引継ぎなどがない中住む家を決めなければいけないことが少し大変でした。

留学中のお気に入りの写真



コメント：大学での記念撮影

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。
国際交流課 学生派遣係 一同

TMDU 海外留学 先輩の声



留学/派遣先（国名）：インペリアル・カレッジ・ロンドン

Q.今回の留学プログラムの感想	ラボでの作業自体は日本でもイギリスでも変わらず、基礎研究の本質は一緒だと感じた。幸運にも、実験内容や予定を自分で考えて組み立てる機会を多く頂き、ある程度の成果も残せたので、基礎研究の楽しさを知ることができた。ロンドンには観光地や魅力的な場所が数えきれないほどあり、毎日が楽しかったが、tubeのストライキや電車遅延の多発、自販機やコンビニの少なさなど、生活の利便性は日本の方が良いと感じた。イギリスで暮らすことで日本の特徴を改めて認識できたというのが大きな経験だったと思う。自身の変化としては、観光先でより深く楽しむために、絵画や建築、世界史などをもっと勉強したいと感じた。語学や、自分の元々の趣味も一層磨きたいと思い、己を高める意欲がこれほど湧いたことは過去になかったので自分でも驚いている。	
Q.健康管理や危機管理について	スマホで地図を見る回数を減らす。頻繁に見ていると観光者感丸出しになって狙われるし、スマホをひったくられる危険性も上がる。あとは、クレジットカードの不正利用対策をする。ネットにカード情報を入力することは極力避け(paypalを利用するなど)、不正利用された場合に備えてデビットカードを使う、などが有効だと思う。	
Q.今回の派遣先への留学を希望している後輩たちへのメッセージ	日本とイギリスの基礎研究の違いを知る、ということも大事かもしれませんが、それ以前にまず、学生のうちに色々な環境で基礎研究を経験できるということがとても貴重です。基礎研究に興味がある人は、研究への関わり方について何らかの新しい視点が得られると思います。また、基礎研究と直接関係のない部分でも、海外の環境に身を置くことで、大学生のあり方や医療制度、国民性に至るまで、日本の特徴がよりクリアに見えてくるということもあります。自分を見つめなおし、普段考えないようなことを考えるととても良い機会となり、将来の進路を考える上で大きな経験となることは間違いありません。 生活面では、ロンドンは比較的治安が良く、気候も非常に過ごしやすい時期です。また観光面では、ロンドンやイギリス国内だけでなく、ヨーロッパの他の国へも簡単に旅行できます。数か月という長い期間をロンドンで過ごせるからこそ満喫できるものは多く、充実した日々が約束されていると断言していいでしょう。	
Q.留学プログラムへの応募前や選考、渡航前など大変や不安だったこと	日常生活に対する不安は無かった。 クレジットカードやパスポートの紛失、自力では対処不可能な怪我・病気をした際の現地の医療機関利用など、有事の場合の対応が若干不安だった。	

コメント：ウィンブルドンでプレーする西岡選手を至近距離で観戦！サインも貰いまし

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。
国際交流課 学生派遣係 一同

TMDU 海外留学 先輩の声

留学/派遣先（国名）：インペリアル・カレッジ・ロンドン（イギリス）



Q. 今回の留学プログラムの感想

研究においては、毎日新しい学びと発見があり楽しかった一方で、思うように進まないことも多々あり苦勞もしました。その分周りの方々に助けられ、他の研究者とのコミュニケーションと信頼関係がいかに関与に直結するかを肌で感じ、今後のキャリアにおいてもこうした繋がりを大切にしたいと感じました。そして、ロンドンという世界中から人・文化が集まる都市で多くの刺激や経験を得たことで、キャリア・私生活ともに今後挑戦してみたいことが増えたり、自分にとっての幸せがより明確になったり、この先の人生のことをより前向きに考えられるようになりました。

Q. 健康管理や危機管理について

ロンドンは比較的治安が良く安全ですが、スリは多いと聞くので、常に気は緩めず、荷物は見えるところに持つ・スマホを必要以上に出さないなどを心がけていました。幸い人種差別などを受けることは一切なく、知らない方が助けてくれることも多くありました。

Q. 今回の派遣先への留学を希望している後輩たちへのメッセージ

インペリアルには自分のポテンシャルを最大限に伸ばせる環境があり、そして素晴らしい先生方・研究者仲間がいらっしゃるはずです。またロンドンは、多くの文化やエンターテインメントが集結する、楽しみの尽きない場所です。ぜひ研究・生活ともに全力で楽しみ、充実した時間を過ごしてください！

Q. 留学プログラムへの応募前や選考、渡航前などに大変や不安だったこと

基礎研究の経験不足、一人暮らし・自炊の未経験、人種差別などが不安でしたが、いずれも特に問題ありませんでした。

留学中のお気に入りの写真



コメント：大英博物館の前にて。あまりにも広く一日では到底見切れません！

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。
国際交流課 学生派遣係 一同

TMDU 海外留学 先輩の声



留学/派遣先（国名）：ネバダ大学リノ校（アメリカ合衆国）

Q.今回の留学プログラムの感想	研究実践プログラムなどの経験がなかったので海外で研究することに不安があったが、受け入れ先の教授は我々の状況にあわせて5か月間を有意義に過ごせるようサポートしてくださったので、多くの学びを得ることができたと思う。また、インターナショナルハウスに行くことで多くの現地の学生、留学生とも知り合い、アメリカの大学生活を体感したり、言語の習得に励むことができたのはとてもよかった。海外での生活では日本での生活と違い、わからないことがほとんどでそれを自分で解決する必要があるが、恐れず挑戦することで成長することができたのではないかと考えている。
Q.健康管理や危機管理について	早寝早起きを特に心掛けた。体調を崩すことだけは絶対に避けたかったので、日本にいたときよりも食事、天候などに注意を払って適切な行動をとるようにしていた。危機管理に関しては、旅行する先の情報をインターネットで調べたり、現地の人にアドバイスをいただくなどして事前に危険を避けるよう徹底していた。
Q.今回の派遣先への留学を希望している後輩たちへのメッセージ	教授はとても親切に研究、生活をサポートしてくださいます。研究経験ある方、ない方どちらも有意義に5か月間を過ごせると思います。インターナショナルハウスに行けば買い物なども連れて行ってくれますし、車でないと行きにくい観光地に連れて行ってくれたりします。リノは田舎ですが、複数の大都市へ飛行機で2時間かからず行くことができるので、旅行をしたいという人も十分楽しむことができると思います。
Q.留学プログラムへの応募前や選考、渡航前などに大変や不安だったこと	研究では日常会話よりは少しレベルの高い英語を使う必要があるので、不安だった。

留学中のお気に入りの写真



コメント：Reno Arch の前での記念写真です。

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。
国際交流課 学生派遣係 一同

TMDU 海外留学 先輩の声



留学/派遣先（国名）：ネバダ大学リノ校(アメリカ合衆国)

Q.今回の留学プログラムの感想	4年生まではZoom授業中心の学生という立場に守られた生活を送っていましたが、留学先ではラボの研究者として、一社会人として扱われるようになります。環境が大きく変わること、自分の長所も短所も見えてきました。今までの自分では見られなかった一面や、今の自分には足りない一面を発見するにはとても良い機会でした。一方でネバダ大学派遣を含む研究留学は、医科歯科の研究室に残って行うプロセメと比べると、色々とスムーズではないと思います。研究室によりますが、まともに研究できる保証はありません。例えばネバダ大学ではYumei研究室は雑用働きが多いし、Gonzales研究室はサポートがほぼありません。その状況下で自分がどこまで手を上げられるかという面でも、留学を通して非常に良い経験をしたと思います。ただ真っ当に研究がしたいなら国内に残れば済みますが、留学の意義としては上記のように、異国で望まぬ事態に陥った問題解決力や柔軟性の獲得だと切に感じました。	留学中のお気に入りの写真  コメント：ネバダは自然豊かで、土日に避暑地に行けるのが最高です
Q.健康管理や危機管理について	帰りの便がBird Strikeで欠航したこと。たまたま田舎町のリノに日本人の航空会社スタッフがいたのでスムーズに振替ができました。が、乗り継ぎに影響が出そうだったら、出来るだけ速やかにカウンタースタッフに乗り継ぎ便の振替交渉をすべきです。もし仮に、帰国便を乗り過ごした上に、その他の日本便が満席だった場合、何日も宿無し生活が始まってしまいます。帰国10日前に新型コロナウイルス感染症に罹患したこと。渡航前の一定期間は、病み上がりの人間には近づいては行けません。	
Q.今回の派遣先への留学を希望している後輩たちへのメッセージ	留学先のサポートが手厚いのはImperial College Londonです。遊ぶ場所がたくさんあって楽しいのはUniversity of South Californiaです。ただ、自己研鑽にはネバダ大学がオススメです。ネバダ大学派遣はサポートが不十分だし、遊ぶ場所はないし、住居の不安もあるので上級者向けですが、困難が多い分人として大きく成長できると思います。これは持論ですが、帰国後に「何が楽しかったか」より「何が大変だったか」を多く語る留学こそ、大成功だったと言えると思います。個人的には自分がネバダ大学派遣で良かったと思っています。	
Q.留学プログラムへの応募前や選考、渡航前など大変や不安だったこと	僕らの代だけだと思いますが、海外留学プログラム実施の有無が長い間不透明だったことや、賃貸アパート・海外保険等の手続きが渡航2ヶ月前まで進められなかったことは、非常に残念でした。	

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。
国際交流課 学生派遣係 一同

TMDU 海外留学 先輩の声



留学/派遣先（国名）：南カリフォルニア大学（アメリカ合衆国）

Q. 今回の留学 プログラムの感想

日本での生活とは違い、研究において自分が何をやりたいか、どうすれば現地での生活を有意義なものに出来るか向き合っていることが出来ました。異なる文化をもつ場所での生活は大変なことも多々ありますが、同時に得られることはかけがえのないもので、他では代えがたい経験となったと感じます。

Q. 健康管理や 危機管理について

実際に体調を崩したり何かを盗まれたりしたことはありませんでしたが、日本とは違う環境であることを常に意識することが大切だと思います。

Q. 今回の派遣先への 留学を希望している 後輩たちへの メッセージ

南カリフォルニア大学は研究を学ぶ場としてはとても恵まれていると思います。しかし、生活する環境としては治安も決して良くなく、日本で過ごすこととは違う大変さもあります。それでも留学を通して得られる知識や価値観、行動力や経験は自分の人生において貴重なものになります。今までと違う環境で学ぶことについて不安なことも多くあると思いますが、ぜひ一度飛び込んで挑戦してみしてほしいなと思います。

Q. 留学プログラムへの 応募前や選考、 渡航前など大変や 不安だったこと

研究を学び、身に付けるのに必要な英語力が自分にあるのだろうかということが一番の不安事項でした。

留学中のお気に入りの写真



コメント：カリフォルニアには素敵なビーチがたくさんありました。

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。
国際交流課 学生派遣係 一同

TMDU 海外留学 先輩の声



留学/派遣先（国名）：南カリフォルニア大学（アメリカ）

Q.今回の留学 プログラムの感想

大学の病理学の研究室で、これまで興味のあった分野の新たな研究を学べただけではなく、医療制度の違いや医学部の違いなどを直接見て知ることができました。現地の人の、自分の学んでいることや仕事に対するパッションの強さが印象に残りました。また寮や生活の中で日本では出会えないような背景を持つ新たな人々との出会いもあり、自分の将来の選択肢も広がりました。
ロサンゼルスという場所も、天候が非常によく開放的で、様々な人種が集まっていて親切な人が多かったので、この場所で5か月間過ごせたことで、自分の人間性にも良い影響があったと思います。

Q.健康管理や 危機管理について

生活に慣れず体調を崩したことはありましたが、入っていた保険会社のサポートで問題なく対応していただくことができました。治安は日本に比べよくないので、早朝や夜に歩かない、自分の荷物管理を徹底するなど、注意する必要がありました。

Q.今回の派遣先への 留学を希望している 後輩たちへの メッセージ

5か月間という期間は長いようで短いので、留学の目的を明確にするといいと思います。また仮に英語力などに不安があったとしても、積極的に学ぼうとする姿勢を見せるたくさんの人が助けてくれるので、まずは話しかけてみるいいと思います！

Q.留学プログラムへの 応募前や選考、 渡航前などに大変や 不安だったこと

海外経験が少なく英語力に不安があったこと、一人暮らしが初めてであったこと、治安などが不安でした。

留学中のお気に入りの写真



コメント：グリフィス天文台からのロサンゼルの夜景です！

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。
国際交流課 学生派遣係 一同

TMDU 海外留学 先輩の声

留学/派遣先（国名）：南カリフォルニア大学（アメリカ合衆国）



Q. 今回の留学プログラムの感想

研究内容は以前に取り組んでいた研究に近かったため、遅れを感じることはなかった。一方で肝臓に特化して研究したことはなかったので、その分野における基礎知識をつけることは大変だった。実家にいるときよりは自立した生活を送れるようになったと感じる。コロナの影響もあってか、文化的な交流はあまり行われていないように感じた。

Q. 健康管理や危機管理について

荷物の置く位置には気を付けていたが、ヒヤットする場面はほとんどなかった。浮浪者も多いが、話しかけられたとしてもリアクションを全く取らず、無視することが大事。日本のように健康的な食事は外食では保てないため、基本的には自炊していた。体調も一度も崩さなかった。

Q. 今回の派遣先への留学を希望している後輩たちへのメッセージ

お金がかかり親にも迷惑をかけることがあるが、それ以上に得られる経験が有意義であるため何事にも挑戦するべきだと思う。アメリカは英語さえ話せば困ることは基本的にないため、海外経験がなくても行きやすい場所だと思う。

Q. 留学プログラムへの応募前や選考、渡航前などに大変や不安だったこと

最終的なプログラム派遣決定が三月末日に決まったこともあり、そこからVISA取得など準備期間が短いことは大変だった。下調べをしてあらかじめ必要になりそうな書類を準備しておくのと良いと感じた。

留学中のお気に入りの写真



コメント：自分が通っていた研究棟の入口。USCと医学部を同時に感じられる場所。

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。
国際交流課 学生派遣係 一同

TMDU 海外留学 先輩の声



留学/派遣先（国名）：チュロンコン大学（タイ）

Q. 今回の留学プログラムの感想	今回チュロンコン大学に留学したのは自分ひとりだけだったので、基本的には日本人と一切かわりを持たない生活が5か月続きました。寂しさを感じることもありましたが、そのことが現地で友達を作る意欲につながり、より留学生生活を充実させることができたのではないかと思います。また、タイ留学の最大の特徴と言えばやはりタイ語でしょう。大学では英語でコミュニケーションを取りますが、日常生活ではなるべく英語に逃げず、タイ語を話すように心がけました。上手に買い物ができた時には心の中でガッツポーズ。小さな成功が大きな喜びでした。
Q. 健康管理や危機管理について	当初は犯罪と食品衛生に気を付けていましたが、普通に生活していれば、危ない目に遭うことはないように感じました。しかし一度だけ、セブンイレブンで買ったバナナの味がおかしく、その後高熱、頭痛、腹痛に襲われたことがありました。味に異変を感じたら、バナナの個性かも、と思うのではなく、すぐに食べるのをやめて捨てるべきです。
Q. 今回の派遣先への留学を希望している後輩たちへのメッセージ	タイは多くの日本人が居住していることから分かるように、決して住みにくい国ではありません。海外とはいえ、大きな不安を感じる必要はないので、少しでもタイに興味がある人は、積極的に挑戦してほしいと思います。授業や試験がない分、生活の自由度がグンと高まります。研究だけではなく、日常生活にも目を向けて5か月間タイ生活を味わいましょう。タイ語にも挑戦してみるとより充実したタイ生活が送れるかもしれませんよ！
Q. 留学プログラムへの応募前や選考、渡航前などに大変や不安だったこと	渡航前は、配属される研究室がなかなか決まらず、手続きもスムーズに行かずかなり不安でした。メールが返ってこない時は、遠慮することなくFacebookを通して連絡したり、本学の教授に相談して確実に返事をもらえるようにすべきでした。

留学中のお気に入りの写真



コメント：チャオプラヤ川越しに見えるお寺ワットアルン。ライトアップが素敵でお気に入り

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。
国際交流課 学生派遣係 一同

TMDU 海外留学 先輩の声



留学/派遣先（国名）：ハーバード公衆衛生大学院（アメリカ）

Q. 今回の留学プログラムの感想	コロナ禍における受診控えと慢性疾患の悪化について、都道府県レベルでの地域差を調整しつつ、解析を行いました。先生との週1回のミーティングを通して、解析方法やその結果の解釈の方針がより明確なものになっていきました。月1のラボミーティングでは、ゲストスピーカーの方や研究室メンバーの研究成果を聞く機会もあり、社会疫学研究の最先端の研究テーマや手法について学ぶことができました。自身のペースで研究を進めることができ、アドバイスが必要な場合は、ポスドクの方々など、適切なインプットを頂ける環境でした。3ヶ月という短い期間だったので、自分の毎日のルーティンを維持しつつ、新しい機会に飛び込んだり挑戦したりすることのバランスを保つことが少し難しかったです。その中で、切磋琢磨できるような友人関係を構築できたことを、大変幸せに思います。
Q. 健康管理や危機管理について	特にありませんでした。
Q. 今回の派遣先への留学を希望している後輩たちへのメッセージ	3ヶ月の留学期間をどう過ごしたいかについて、自分の裁量権がとても大きかったように感じました。留学先で何を成し遂げたいか目的を明確にし、自分の理想の将来像と照らし合わせて、毎日を過ごし、振り返ることが重要だと思います。特に3ヶ月という短い期間ですので、自分が何にフォーカスしたいのかを留学前に言語化することが、留学成功のポイントだと思います！頑張ってください！
Q. 留学プログラムへの応募前や選考、渡航前など大変や不安だったこと	留学先の大学や医科歯科からのサポートがあり、応募にあたり、大変な点や不安だったことはあまりありませんでした。

留学中のお気に入りの写真



コメント：留学を楽しみつつ、研究成果を出すために、頑張ってください！

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。
国際交流課 学生派遣係 一同

TMDU 海外留学 先輩の声



留学/派遣先（国名）：ハーバード公衆衛生大学院（アメリカ）

Q. 今回の留学 プログラムの感想

コミュニティが狭い日本の日常生活では巡り合えないような、レアな人間関係にとっても恵まれました。自分とは全く違う背景、価値観を持つ人々との出会いが毎日あり、本当に充実した日々でした。公衆衛生の研究を通じて臨床統計に関する知識も少し磨くことができました。また、数年後に臨床医としてアメリカで働きたいという憧れが確固たる目標に変わりました。

Q. 健康管理や 危機管理について

総合感冒薬、葛根湯は持っておくと、とても便利です。現地の親しい友達には、常に位置共有をiPhoneでしていました。

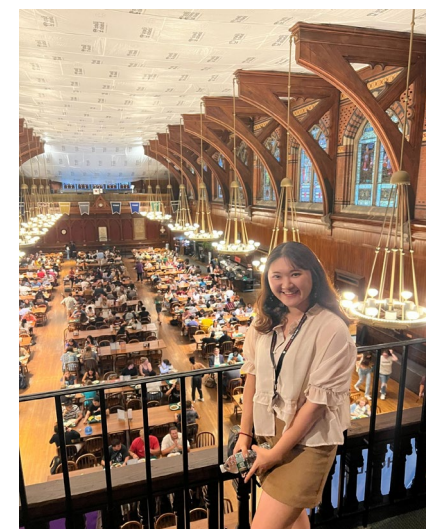
Q. 今回の派遣先への 留学を希望している 後輩たちへの メッセージ

ウェット研究には興味がなくて、勉強や研究以外にも自分の課外活動のための時間をきちんと確保したいという学生にこの留学先はお勧めです。かなり自由時間があるので、どれだけ留学を充実させるかは己の時間の使い方にゆだねられます。私は色々な手段を通じてなるべく交友関係を広げること、コネクションをつくることにかかなりのエネルギーを注ぎました。日本ではなかなか出会えないような人々ばかりなので、この時間の使い方には非常に満足しています。もし悩んでいたらいつでも190852ms@tmd.ac.jpに連絡ください！

Q. 留学プログラムへの 応募前や選考、 渡航前などに大変や 不安だったこと

住居を探すのに一番時間がかかりました。これは本当に運です、、、正直お金を少し多めに払ってでもairbnbか賃貸がおすすめです（ホームステイにするなら本当に慎重になって！）

留学中のお気に入りの写真



コメント：Fenway Park野球場でRed Sox試合鑑賞、お世話になったハーバード公衆衛生大学院、

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。
国際交流課 学生派遣係 一同